

保健だより



令和7年12月8日
乃木保育所
看護師 法橋 郁子

師走を迎え、寒さも本格的になってきました。こうした季節には、インフルエンザや風邪などと共に感染性胃腸炎も多くなってきますので、注意が必要です。感染性胃腸炎の原因の多くはウイルス性で、主にロタウイルスとノロウイルスです。これらは、人から人へと感染し、吐物や便に含まれているウイルスや汚染された食品やドアノブ等を触った手からも感染します。その感染力は非常に強いので、予防にはこまめな手洗いやうがい大切です。

保育所は多数の乳幼児が生活をする場なので、手洗いやうがいはもちろん、おもちゃやドアノブ、扉などの手が触れる場所の消毒も行って感染予防に努めていますが、お子様の体調の変化(発熱、嘔吐、下痢など)によっては、感染拡大予防の為に、速やかなお迎えをお願いします。

感染性胃腸炎について、症状やケアなどをまとめましたので、参考にして下さい。



冬場に注意したい 感染性胃腸炎(おう吐下痢症)

原因 冬に流行するウイルス性の胃腸炎で、原因となるウイルスには、ロタウイルス、ノロウイルスなどがあります。



症状 突然のおう吐からはじまり、その後下痢の症状があらわれます。発熱する場合もあります。ロタウイルスの場合は、便が白っぽくなる場合があります。

家庭でのケア



下痢やおう吐などの症状が見られる間は、園を休みます。激しい下痢やおう吐が続くと脱水症状を起こしやすいので、小児用イオン飲料などで水分補給をきちんとしましょう。ようすをみて病院を受診します。

おう吐物の処理について

感染力が強いのでおう吐物の処理には、十分注意しましょう。



使い捨て手袋とペーパータオルなどを使い、ふき取り、ビニール袋に入れます。袋内には塩素系漂白剤をペーパータオルなどにしみ込む程度入れて処分します。



おう吐物がついた床は、塩素系漂白剤などをしみ込ませた布などで覆い、10分程度おいたら、水ぶきします。



すべての処理が終わったら、手洗いを十分に行います。その際、使用した手袋はおう吐物を処理した時と同様に処分します。

保護者の皆様へ

嘔吐物(下痢も含む)で汚染した衣類を、そのままお返しするのは大変心苦しいですが、保育所での二次感染を防ぐために、所内では洗濯しないように行政指導を受けていますので、ご理解とご協力をお願いします。



今月の保健指導



今月は「風邪やインフルエンザ症状への対処法」について、鼻や耳の仕組みを示しながら、鼻水が出た時の処理や咳、くしゃみをする際の咳エチケットについて話をしました。誤った処理によっては、中耳炎や副鼻腔炎になることもあります。正しい処理の仕方を身につけて、感染症が広がらないようにしましょう。

年末年始の急病に備えて

年末年始は、ほとんどの病院が休診となります。お子さんの急な発熱やけが等に備えて、事前にかかりつけの病院や近くの救急病院の診療時間を確認しておきましょう。

また、帰省先の救急病院の情報も把握しておくで安心です。

